

10月10日はLPガスの日・LPG車の日です。

制定の由来

1964年10月10日に東京オリンピックが開催された歳、メイン会場の国立競技場の聖火がLPガス(プロパンガス)で点火されたためです。

また、数字の「10」と「10」が火で料理をしているときの音「ジュージュー」と読めることと、LPガス自動車・LPガス機器が進化している勢いを表した音「ドンドン」と読める語呂合わせからです。

家族で守ろう! LPガスを正しく使って

安全・安心を願う気持ちは、家族みんな一緒。CO(一酸化炭素)中毒・ガス漏れを防ぐこと、

安心な毎日を!

忘れずに習慣にしていきましょう。

家族で守ろう! ①

ガス器具を使うときは
必ず**換気**をしてね♡

ガス器具を使うときは、換気扇を回してときどき窓も開けて、必ず換気(給気と排気)をするようにしましょう。



換気をせず空気(酸素)不足のままガスを使い続けると、不完全燃焼を起こし、有毒なCO(一酸化炭素)が発生します。「無色・無臭」なため、気付かないうちにCO中毒を起こして死に至る恐れもあります。

「安全器具」でもっと安心!

ガス警報器やCO警報器などを設置して、常日頃の安全対策を強化。プザーや音声で異常を知らせてくれるので安心です。

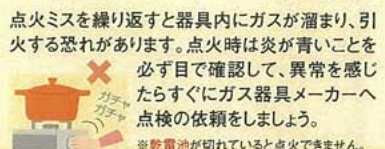


※交換期限の5年を過ぎたら新しい警報器とお取り換えください。

家族で守ろう! ②

必ず目で見て**確認**
点火ミスや誤開放に
気を付けて!!

使っていないガスの元栓のつまみは必ず「閉」にし、ガス栓カバーとゴムキャップをつけましょう。ゴムホースも点検を忘れず、ひび割れや焼け焦げのあるものは交換を。



点火ミスを繰り返すと器具内にガスが溜まり、引火する恐れがあります。点火時は炎が青いことを必ず目で確認して、異常を感じたらすぐにガス器具メーカーへ点検の依頼をしましょう。
※乾電池が切れていると点火できません。

家族で守ろう! ③

古いガス器具は
忘れず**点検**を
お願いしましょうね。

屋内式のガス温水機器は**法定点検**の対象製品となりました。

屋内式のガス温水機器(法律により特定保守製品に指定された製品)は、経年劣化による事故を防止するために、法定点検を受けることが求められます。

時期が来たら、メーカーから点検通知を出しますので、対象製品を購入されたら、必ず同梱の所有者票(登録はがき)を返送して所有者登録をしましょう。



「長期使用製品安全点検制度」

■ 特定保守製品を購入したら

説明を受けましょう

ガス器具購入店にて、制度についての説明を受けます。

所有者登録をしましょう

所有者票をガス器具購入店に渡すか、ガス器具メーカーに郵送して登録しましょう。

を利用しよう!

点検を受けましょう

点検時期が来ると通知が届きます。ガス器具メーカーに点検(有料)を依頼しましょう。
※点検を依頼していただくことが法律で求められています。

平成21年4月より前に製造された製品は法定点検の対象外ですが、お客様の依頼があれば、法定点検に準じた点検を行います。点検調査、修理・改善(有料)については、ガス器具メーカーにご相談ください。

LPガス
人と地球にスマイルを
10月10日はLPガスの日

ガスを再開するときの安全確認

地震などの災害後、ガスを再開するときには必ず次の安全確認を行いましょう。

✓安全チェック ①

ガス漏れやガスの臭いがしていないか

ガス漏れやガスの臭いがするときは使用せず、器具栓、ガスの元栓、メーターガス栓および容器バルブを全て開けて、「LPガス販売店」か「緊急時の連絡先」へ連絡してください。

✓安全チェック ②

ガス器具に損傷がないか

ガス器具が損傷していたときは使用せず、ガス器具メーカーに修理を依頼してください。

余震や停電に注意して使用しましょう。

ガスメーターがしゃ断された場合は、ガスメーターの表示を確認して、復帰操作を行ってください



復帰できない場合は、LPガス販売店にご連絡ください。
※ガスメーターの復帰方法など、詳しい情報はLPガス安全委員会ホームページでご確認ください。

異常があれば即連絡!

ガス臭い・ガス漏れなどの異常を感じたら使用をやめ、「緊急時の連絡先」へ連絡を。
※緊急時の連絡先はあらかじめLPガス販売店に確認してください。



緊急時の連絡先は
夜間・休日も
対応

緊急時は
30分以内に
対応

LPガス安全委員会 / 経済産業省

詳しくはLPガス販売店、またはLPガス安全委員会ホームページでご確認ください。

<http://www.lpg.or.jp/>